

外部機関所蔵資料の調査

当研究においては、本学所蔵の画像資料の電子情報化と保存・研究活動を中心に実施しており、その成果を年刊の事業報告やWeb上で随時公開し、シンポジウムや研究集会、フォーラムなどを実施して研究の促進と公開につとめた。これに伴って、外部諸機関からデータ利用に関する問い合わせや、資料調査・閲覧などの希望が持ち込まれるようになった。これについては各々のケース毎に対処し、本学所蔵の資料が外部機関の研究活動に貢献できるよう心がけてきた。一方で、当プロジェクトにおいて進めてきた画像の電子情報化のノウハウを生かして、画像資料という側面に加えて、さらに視野を広げて文化財活用の視点から本学以外の外部機関所蔵資料についての調査を実施した。調査対象は、奈良県春日大社資料、大阪府武田塾資料、東京都世田谷区宮地直一博士資料である。

いずれも、短期間の調査により序所に成果を挙げており、今後も研究の継続が必要である。特に、宮地直一博士資料は平成15年に本学へ寄贈となった。

各調査及び資料詳細は次頁以降を参照されたい。

(加藤里美)



武田塾資料 写真台紙



武田塾資料 紙焼き写真



武田塾資料 文書保管箱



武田塾資料 武田塾資料調査風景